

# 町内公民館活動だより

## 新田町

区 長 河 崎 茂

新田町区は、世帯数29軒と小さな町内です。子供の数も少なく高齢化も進んでいます。小さな町内なりにまとまりがあり、町内グラウンドゴルフ大会も年2回お暮場で老若男女集い、和氣藹々とプレー、大会終了後は表彰式慰労会をしています。それに、もう20年以上も続いています。夏には若連中主催のバーベキュー大会、ビンゴゲームやすいか割り、花火と婦人会子供会も協力し、町内の交流を盛り上げています。老人会がなくなり、



交流の場がほしいとグラウンドゴルフ愛好会を募った処22名の会員が集まり、週2回善行寺境内でプレー、4月に花見大会、パルパークで年2回プレー、12月には温泉に浸かりながらの納会と春にまた元気でプレーしようという誓い合っています。

## 「介護教室」に参加して

上 大 町 小 田 等



「NPO法人ウエルネス村上」と共催で開催されている「介護予防教室」に十九年上浜町・二十一年八日市に続いて二十二年より上大町会館にも開設し、常時二十名前後の方が参加しております。八月はお休みで、月二回第二・第四の木曜日一回六十分程度で行っており、シニア向けの健康体操・頭の体操・レクリエーションなどの内容です。一

昔前と違って「運動」が健康寿命に重要なことは誰もが頭の中では理解されても、一人ではなかなか継続できないのが実態です。先生の心配りの指導に感謝し乍ら教室は和やかで健康の有難さを実感し皆さん取り組んでおります。これからこの輪を広げ、気軽に無理せず・自分に合った終わりのない健康づくりを願っております。

## 岩船地区料理教室

2月20日、岩船分館を会場に料理教室が開催されました。今年地元特産・岩船麩を使った料理で、煮物や和え物、汁物まで様々な麩料理が出来上がりました。

今年17名中、男性の参加者がいかなかったのが少し残念でしたが、おいしく出来上がった料理と皆さんの笑顔で、試食会も大盛況のうちに幕を閉じました。



# 岩船地区 屋内体育館建設の早期実現を!!

岩船地区の区長が平成11年から要望している屋内体育館建設についての回答が昨年の11月18日の区長会でスポーツ振興課より回答がありましたので報告いたします。

## ① 岩船地区に屋内体育館施設建設の早期実現について

平成11年度からお願いしている要望であります。

岩船地区では、昭和の時代から公民館活動を主とした各種スポーツ事業が市内のどこよりも盛んで大会を通じて、町内同士の親睦と若連中組織の育成も図られております。

残念ながら、専用の体育施設がないため地区の小、中学校の体育館の学校開放でしのいでおります。

しかし、既存のミニバス少年団や、ママさんバレーボール等の諸団体及び専門学校生徒による定期利用だけで満杯で、新規団体はもちろん、新たな健康教室の開催もができない状態です。

また、地区敬老会、市で実施する各種健康診査や地区文化祭の会場にもなっているため、準備や後始末等も児童、生徒の活動に支障のないよう配慮しています。

さらに、災害時の避難場所の確保という面からも絶対必要な施設ではないでしょうか。旧村上市内で専用の屋内体育施設の無いのはこの岩船地区だけです。

地域の多目的利用施設として早急な対応を望むものです。



## (回答：スポーツ振興課)

岩船体育館建設の要望につきましては、長年要望をいただいているところであり、スポーツ・文化活動の盛んな岩船地域の皆さんには、ご不便をおかけしているところです。

平成13年度に同体育館の建設候補地が地質等の問題で不相当となって以降、地元とも調整を図ってきましたが、進展がないまま現在に至っております。

この間、市の財政状況などにより、ハード整備が困難な状態であったことに加えて、合併により体育施設の整備状況や利用形態が変化したことなどから、地域の要望に応えられない状況にあります。

平成21年度に策定したスポーツ振興基本計画においても、「身近な生活圏内での体育施設の整備」についての方策が示されており、現在市民の要望や地域の実情に合った施設整備計画の策定に向けて準備を進めていることから、同地区の体育施設整備についても具体的な検討に入る予定です。なお、施設整備にあたりましては、各地区の活動状況に配慮するほか、効果や地域バランスなどを考慮して進めていきます。

## 元旦マラソン初めで今年も頑張ろう

上浜町 小田 雄一郎

岩船スポーツクラブ主催の元旦マラソンは、村上市主催の元旦マラソンと違い自分の体力なりのスピードで岩船の町並みを楽しみながら岩船分館から岩船神社までの往復を走れるので、私でもという気持ちで毎年参加しております。

今年は曇り空でしたが、雪もなくマラソンには絶好の天気、分館に集合したみなさん一人一人にあけましておめでとうございますの挨拶、竹内先生の音頭で準備体操、出発の号令と共に参加者全員分館を飛び出し、私もなるべく離されないよう走る、元旦で出かける人もなくたまに会う岩船の人の声援を受け神社到着、参道の階段を一挙に駆け上がる情景を頭に描きながらゆつくりと上がり今年1年の健康を祈り参拝、復路はマイペースで友達と並走し分館へ到着。

快い疲れと共に今年も健康で頑張れそうな確かな感じをつかんだ。

